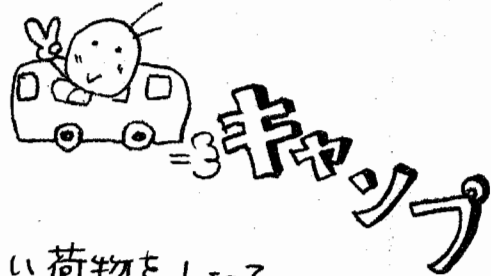


たけやが

2006. 7. 24.
自主学童保育ささのはくらフ



大きい荷物をしょって
さあーいよいよキャンプ場へ
の道を下っていく。自分達で

3日間の食料や鍋を大きい
荷物の他に片手または両手に持って。

去年くおいた道も舗装された道になり、ちよと
ビックリしましたがそこをすぎるとまた「あー今年も

来たんだなーという道になり、緑のトンネルを
くぐりぬけると10パーと開けたキャンプ場が

あらわれました。下りる間、3年生が「ここは、
まん中くらい」「ここ細くなってるから気をつけろ」

「あともうちよとだから、着いたら川入れるからな」
と一生けん命1年生に励ましの言葉を送

っているのに、リーダーとしての自覚を感じ
ました。キャンプ場に着くと「あー懐かしい」

という高学年に「下見で来たじゃん」というと
「ここは何回来とも、懐かしく感じるとこなのよ」

と言う言葉に共感しました。

なんといつても心配していた天気が
大丈夫だったこと……。(晴れ女 晴れ男
が多いのでしょうか!!!)

これは、キャンプにとっても大きな
ことです。

第2公園にぞくぞくと自分の身体程
あるおきなリュックを背負って集

てきたみんな。さすが3年以上
くらいは、余裕の顔で登場!

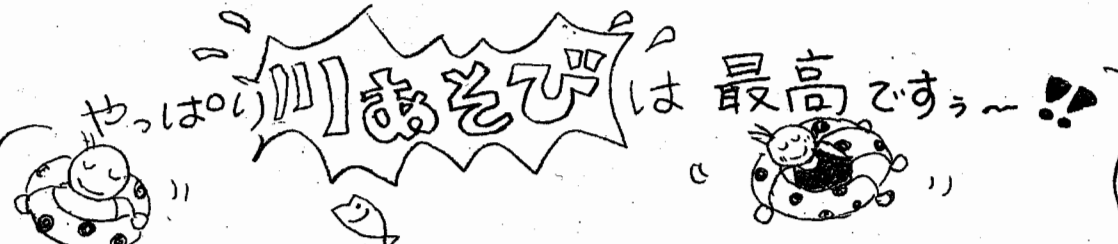
今年も、みんなの手でGet!
した市バスに乗ってLet's

Go!! (ここでも秘話が
あつた。若い運転手さん、乾

ちゃんのお母さんの教え子だつた
らひんいよ

さすが3日連休の高速は
混んでいたけど「トッパ」とキ

リンのギターつきの歌で盛り上がり
バス酔いを心配していた子連も
平気のまま無事キャンプ場入口
に到着。



1日目の川は、ここ何年かないほどの水のあたたかさ
にびっくり! 荷下ろしをしたり、薪拾いをしたりした後の川は、
とれは、もう最高! 水量が少なからたけど、川中の石を寄せ
深みや流木の速さを作ったり、お父さん、お母さん達の努力は
おぼろしいもの……。実際試しに流してみたら「うん」とおし
をうた箇所を改良しながら子どもたちが楽しめる流木
を作っていました。魚がいたり、おたまじやくしをつかまえたり、
1年生も、友だち同士浮輪につながって流してみたり、とても楽
しそうでした。毎年のとびこみの岩場は、中学生の前転とび
こみに「ヒエー!!」と驚きの声もあげ、他の子たちも「ジャーン
ジャーン」もう楽しくたまらない表情で飛びこみ、その表情
を見ていたお父さんが「うん、あんないい表情最高だ」と
言ってくれて見守ってくれていました。学童の子のどれどれの表情を
発見してくれ、一緒に喜んでくれたり、楽しんでくれたり信頼できる
大人が見守ってくれていることで、子どもは200%の楽しみを味わう事
ができると思います。
更に上流にロープをはって、ものすごい流木の所がまた最高
でした。卓也ママも挑戦! 絶対家族キャンプでは味わえないスリル!
とれどれの箇所、楽しみ方が違う川は、やっぱり清津川! と
思えた川あそびでした。

ナイトバイク
今年のナイトバイクも実に凝った企画で、幼児さんから高学年まで
(大人まで)必死になつて楽しめたものでしたねー。もう時を忘れて
必死必死! "まあ、1枚なしでもいっかー"といはいかす意地
でも、見つける〜という気と起す不思議なナイトゲームでしたネ
乾ちゃんのお父さん、来年も楽しみにしていま〜す!